

長野県植物研究会 2010 年度大会及び 195 回例会の報告

大塚 孝一 *

2010 年度大会及び例会が、6 月 12 日～13 日の二日間で下記の日程、内容で行われました。大会参加者は 45 名、例会参加者は 33 名でした。担当幹事：大塚孝一・千葉悟志・橋渡勝也。

1 日時

平成 22 年 6 月 12 日 (土) 午後 1 時～13 日 (日)

2 場所

6 月 12 日 (土)：大町市大町 大町山岳博物館
6 月 13 日 (日)：大町市平 小熊山 (1302m) 付近

平成 22 年 6 月 12 日 (土)

平成 22 年度大会

12:45 ～ 受付

12:45 ～ 13:15 植物同定会

13:15 ～ 13:40 総会

14:00 ～ 15:00 特別講演

井田秀行氏 (信州大・教育)：

「古民家にみる植物資源の持続利用法」

15:15 ～ 16:45 一般講演 (1 題 15 分)：

1 横井 力 (環保研)：

中部地域産スゲ属植物の種子散布特性

2 清水理恵・島野光司 (信州大・理)：

ノウサギの足跡から好適な植生環境を探る

—サドノウサギの植生利用—

3 上野勝典・上野由貴枝 (松本市)・大塚孝一 (環保研)：外来シダ植物アメリカシラネウラボと在来シダ植物の交雑個体の出現

4 藤田淳一 (環境 A C)：植物観察の視点

5 大塚孝一 (環保研)：

新種・新分布など分類学会等からのニュース

6 中山 洸 (佐久市)：信州の植物 スライド解説 (3)

宿泊・懇親会

大町市木崎湖温泉 民宿 やまきた荘

電話：0261-22-0287

平成 22 年 6 月 13 日 (日)

第 195 回例会 8:30 ～ 14:00 頃まで

場所：大町市平 小熊山付近

大会開始前の植物標本同定会では、主として中山会長が同定者となり、また、参加者が得意な分類群について受け持ち、持ち寄られた標本の検討がなされました。今回の大会は、「長野県植物研究会講演会 in 大町」として大町山岳博物館との共催とし、一般公開で行いました。その結果会員外の方も 11 名参加され、総勢 45 名の参加となりました。中山会長のあいさつに続き、博物館の館長からごあいさつをいただき、総会にはいり、事務局の佐藤庶務幹事、島野会計幹事から事業報告、会計報告がなされました (写真 1・2)。

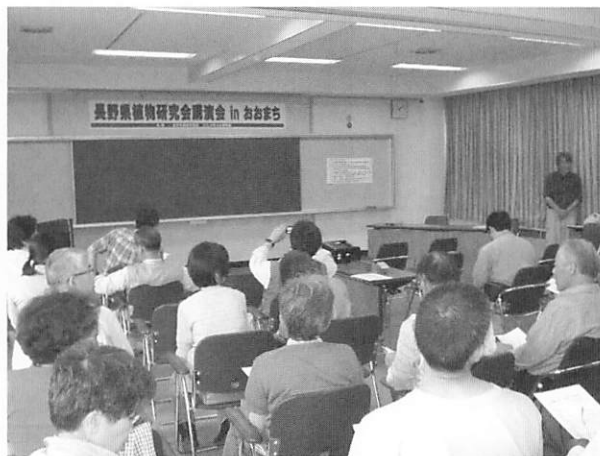


写真 1 大会の様子



写真 2 特別講演 井田先生

* 大塚 孝一 〒380-0952 長野市宮沖 199-1

特別講演では、信州大学教育学部の井田秀行先生が、「古民家にみる植物資源の持続利用法」と題して発表されました。一般講演では5題の発表と、中山会長のスライド上映がありました。

(大会参加者)中山洸、佐藤利幸、島野光司、小口好久、藤田淳一、安斉好廣、蛭間啓、坂口竣弥、堀米富平、竹重聡、古畑けさ代、笠原光枝、川上美保子、柴平志保子、清水理恵、戸谷やよい、宮島陽子、横井力、竹田正博、篠原喜運、早坂祥彦、大塚孝一、尾鼻陽介、片岡陽介、長野祐介、坪井勇人(以上宿泊・懇親)、千葉悟志、橋渡勝也、上野勝典、上野由貴枝、吉沢敏江、伊藤静夫、倉科和夫、草間勉、他会員外(45名)。

翌日の例会は8時45分にやまきた荘前に集合し、宿泊者の他当日参加を加え小熊山登山口で集合写真を撮影後(写真3)、登山道沿いを植物観察しながら、

山頂に向かいました。天気はまずまず良かったです。植物リスト作成を藤田淳一氏にお願いした。地元の千葉悟志さんと中山会長から植物の説明や類似種の区別など詳しく聞きながらゆっくり進みました。道が細く、急なためいくつかのグループに分かれてしまいましたが、思い思いに観察できました。

この小熊山の植物観察(写真4)はかなりおもしろかったので、当日観察できた植物のリスト等、藤田さんに別立てで詳細な報告をまとめてもらうこととしました(例会報告参照)。

(第195回例会参加者)中山洸、佐藤利幸、島野光司、小口好久、藤田淳一、安斉好廣、蛭間啓、坂口竣弥、堀米富平、竹重聡、古畑けさ代、笠原光枝、川上美保子、柴平志保子、清水理恵、戸谷やよい、宮島陽子、横井力、竹田正博、篠原喜運、早坂祥彦、大塚孝一、尾鼻陽介、片岡陽介、長野祐介、坪井勇人、千葉悟志、橋渡勝也、吉沢敏江、伊藤静夫、倉科和夫、中村千賀、井出靖(33名)



写真3 集合写真



写真4 観察会の様子